

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 28日

事業所名 シルビアン音楽療育館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	1	法令を遵守したスペースを確保しています。学習室、休憩室等、用途別の個室があり、個々にあったプログラムを立案し各部屋に分散して療育活動を行っています。	活発な児童も多いので、事業所内が少し手狭に感じる場面も多いです。外の駐車場スペースを工夫し、ボールを使って体を動かせるような環境作りも行っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	6	0	法令で必要とされる配置数を確保しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	2	8	室内は全て段差のない構造になっています。トイレか所と玄関には段差があり、見守りや声かけ、必要であれば介助行い、安全に配慮しています。	トイレや玄関の段差、個室2部屋の開き戸等、バリアになってしまう箇所も見られます。現在は自立度が高いですが、今後必要に応じて安全確保できるよう検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0	9	1	社員間でのミーティングや月1回の職員全体会議で業務改善について話し合う機会を設けています。必要に応じて、適宜ミーティングの場を設けるよう努めています。	職員が参画出来るよう工夫しているが、1人1人の意識はまだ低いと感じています。PDCAサイクルを意識し、1人1人職員が参画出来るよう努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	3	0		アンケートを実施し、集計結果を元に、保護者の意向等を把握、分析し、業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	4	0	事業所HPIにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	8	0		第三者による外部評価について、今後実施を検討し、業務改善に取り組んでいきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	1	年度ごとに研修計画を立てて、それに基づき実施しています。また、新入社員、中堅社員、管理者等、段階ごとに研修受講計画を作成し、実地しています。	全職員が外部研修へは参加は出来ていません。その代わりに、参加職員からの伝達研修を事業所内で実施し、車内研修の場を設けています。今後は、全職員が研修へ参加できるように努めます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	0	契約時に児童と保護者のニーズを聞き取り、アセスメントシートを元に計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	10	0	アセスメントシートを用いて、ご家族から支援に必要な情報を聞き取りし、整備しています。日々の活動記録を分析し、評価を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	7	0	前年度のプログラムや行事を参考にしながら、チームで案を出し合いプログラムを立てています。職員を通じて、児童の興味がある活動内容を取り入れる工夫も行っていきます。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	0	室内・屋内・交流・調理など、様々な活動を計画し、実行しています。療育内容以外にも、季節に合わせた行事や活動を取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	6	0	職員ミーティングで、平日、休日、長期休暇用の課題を検討、設定しています。	

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	0	各児童の特性に合わせて、個別・集団の活動を組み合わせながら計画作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	8	2	支援開始前に職員間で打ち合わせの時間を設け、内容を共有した上で支援を行っています。勤務時間の兼ね合いで全員集まる事が難しい場合は、LINEを利用して伝達、情報共有出来るよう工夫をしています。	職員の勤務時間が違う為、直接話し合いの時間が持てない事も多々ありますが、可能な限り一日の流れや支援内容を確認する時間を引き続き設けていきます。LINEや回覧板等も利用し、全員が情報共有出来るよう努力します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	2	反省、気付いた点等があれば、送迎終了後や翌日の朝に振り返り、話し合っています。話し合う時間を設ける事が難しい場合は、LINE等で情報発信し、全職員で共有出来るよう努めています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	3	0	支援目標と照らし合わせながら、支援の提供内容やその日の様子を記録・共有し、検証・改善に繋げています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2	0	基本は、受給者証の更新月に計画書の見直しを行っています。その他、課題・ニーズ等の変更、計画書の見直しが必要な場合は、適宜見直し、作成するよう努めています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせながら支援を行っている	1	9	0	自立に向けた支援、創作活動、余暇活動等を複数組み合わせ、支援しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	0	児童発達支援管理責任者が出席し、情報を共有出来るよう努めています。	今後は児童発達管理責任者以外の職員も出席し、その児童にもっとも精通した職員が情報共有出来るように努めます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	0	0	保護者を通じ、学校との情報共有、連絡調整を行っています。また、学校送迎時にも先生と連携が取れるよう努めています。他にも、支援学校の連絡会へ参加しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	10	0		現状、医療ケアが必要な方や、重度心身障害のある方の利用はありませんが、今後必要に応じて体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	4	0	保護者や相談支援専門員を通じて、保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との情報共有、相互理解を図れるよう努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4	0		現在該当する児童がいません。今後必要に応じ、サービス移行の際には連携を図り、情報提供に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	6		近隣の専門機関がどこにあるのか等、情報収集します。また、困難時等の必要に応じて、関係機関と連絡を取り合い、連携や助言を受けられるよう努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	6		今年度もコロナ禍で開催出来ませんが、今後の動向を注視しつつ、家族や地域交流出来る参加行事を計画し、障害のない子どもたちと活動できる場を設けていきます。また、地域行事への参加も積極的に検討します。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	6		現在、参加出来ていません。今後は積極的に参加出来るよう努めていきます。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	連絡帳や送迎時の保護者への申し送りを通して、発達状況や現在の課題、気になる点等について共通理解を持てるよう努めています。必要に応じて、電話やLINE等も利用して伝え合うようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	8	2	対面だけでなく、お便り帳や電話、LINE等を用いて対応出来るよう努めています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	3	0	契約の際、重要事項説明書と利用契約書の記載項目に沿って、丁寧な説明を行うよう心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2	0	様々な方法を用いながら、必要な助言と支援を行えるよう努めています。また、迅速な対応を心掛け、相談内容に応じた適任者が適宜対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	8		今年度もコロナ禍で親子参加行事の開催が出来ていませんが、今後また、保護者同士の交流の場を設けていきます。初めての方が参加しやすい雰囲気作りや日程の調整等を行い、保護者の意見を取り入れていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	お便り帳や電話、LINE等で保護者とその都度連携を取り合える体制を構築しています。また、迅速な対応を心掛け、相談内容に応じた適任者が適宜対応しています。苦情を今後の事業所運営や療育に活かせるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	0	活動予定や連絡事項等を記載したスケジュール表や、毎月の活動風景を通信にして配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	10	0	0	個人情報保護法の研修を定期的に行い、個人情報取扱いについて注意突起を図っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	0	保護者と相談しながら、各児童に適した伝達方法を考え、実践しています。また保護者とは連絡帳や申し送り等で連携を図っていますが、そこで不十分な際は、電話やLINE、別途自宅訪問等しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	9	0	行事の際、必要に応じて近隣住民へ協力依頼し、交流の場を設けています。	
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	8	1	必要に応じてルールやマニュアルを作成し、発信しています。また、見直しや変更点などがあればその都度行っています。	保護者への周知が出来ていないため、今後は保護者へも周知出来るよう努めます。職員間も周知・理解出来ている部分と出来ていない部分で個人差があるので、引き続き周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	1	定期的に、非常災害を想定した避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	社内研修計画で、年に一回研修を実施しています。虐待防止法を理解し、共通の認識を持ち、虐待防止に取り組んでいます。	

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	8	0	現在対象児童はいませんが、社内研修計画で、年に一回研修を実施しています。虐待防止法を理解し、共通認識を持ち身体拘束を行うときの留意点などについて周知徹底しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6	2	現在、該当児童はいませんが、全児童、サービス提供開始前にインテークシートを用いて、保護者から聞き取りを行い、状況の把握に努めています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	0	事例をすぐに記録し、改善に努め全職員で共有できるようにしています。	